

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【さいたま市立美園北小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

次年度に向けて
(3月)

年度末評価
(2月)

反映

⑤	評価(※)	調査結果 学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

結果提供(2月)

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	＜学習上の課題＞自らの課題を認識・自己決定し、その解決に向けて工夫・努力して取り組む力を伸ばしたい。 ＜指導上の課題＞個人差・学年差が大きいので、個に応じた指導や、学年に応じた指導を充実させていく必要がある。	⇒書き込み式ドリルやドリルパーク等の利活用を通して、一人ひとりの課題に合った学習を進めていくことができるよう指導する。高学年においては、課題も含めた家庭学習を児童自身が計画し、取り組んだ内容について記録したものを担任が個別の学習状況に応じて指導支援を行う【学年に応じて毎日～週に1度程度】
思考・判断・表現	＜学習上の課題＞理科・実験の概要の説明 社会：2つの異なる事象についての関連性の説明 国語：話し手の意図をとらえ、効果的な助言をする ＜指導上の課題＞個人差・学年差が大きい。児童主体の学習活動の機会を十分に確保する必要がある。	⇒評価基準を明確にし、児童主体のふり返りを充実させることで、授業に対する主体性を高める。【毎日】 ICTを効果的に活用する等して、魅力ある導入や必要感のある課題設定、解決の見通しをもって自力解決する場面の設定を行い、授業に対する主体性を高める。【毎日】

全国学力・学習状況調査
＜小6・中3＞(4月～5月)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現	

結果提供(7月)

調査結果分析(7～8月)
①結果分析(管理職・学年主任等)
②詳細分析(学年・教科担当)
③分析共有(児童生徒の実態把握)
職員会議・校内研修等

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能			
思考・判断・表現			

中間評価(9月)

目標・策の見直し

反映

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)